

発行 斑鳩町議会  
斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号  
電話 0745-74-1001  
FAX 0745-74-1011  
Eメール: gikai@town.ikaruga.nara.jp

発行人 議会議長 中川 靖広  
編集 広報発行常任委員会



▲国宝 法起寺の三重塔。法起寺は、斑鳩町が誇る世界文化遺産です。令和5年は、法隆寺地域の仏教建造物群が日本で初めて世界文化遺産に登録されて30年です。

## 5月臨時会 6月定例会



13人の議員紹介……………	②ページ
こんなことが決まりました……………	④ページ
9人の議員が一般質問を行いました……………	⑥ページ
委員会のうごき……………	⑫ページ
本会議での討論……………	⑮ページ
議会の新しい構成をお知らせします……………	⑰ページ



# 13名で新たなスタート!

## —議員の紹介—

斑鳩町議会議員選挙が4月23日に執行され、13名の議員が選出されました。今後、この13名で頑張っまいりますので、皆さまのご支援をお願いします。各議員の所属委員会等は、16ページ(裏表紙)に掲載しています。

皆様の温かいご支援を賜り再度、発言の場へと送り出して頂きました。皆様からのご意見を受け止め、真摯に政治に向き合っていきたいと考えております。責任を果たすべく斑鳩町の未来について必要なことを見据えた提言をまいります。今よりも住みよいまち、ふるさと斑鳩のために尽力いたします。



小城 世督  
阿波3丁目

この度も、住民皆様からの温かいご支援を賜り、本当に心より感謝申し上げます。2期目も引き続き、住民皆様の思いを形にできるよう、初心を忘れず日々勉強し、頑張っまいります。斑鳩町発展のためにしっかりと努めまいりますので皆様どうぞ宜しくお願い致します。



溝部 真紀子  
龍田北5丁目

守らなければいけないことは絶対に守り、時代に合わせて変えなければいけないものは迅速に対応することが大切です。町内全域の生活道路の整備をはかるとともに、自然災害に対する備えの拡充に努めます。さらに、小・中学校の老朽化対策の着手をおすすめします。



伴 吉晴  
稲葉西2丁目

みなさんから温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。住民目線で活動し、熱い気持ちでみなさんの思いを、ひとつひとつ形にしていこう、誠心誠意努力してまいります。住んでよかった、住み続けたいと思える日本一の斑鳩町をめざして、一生懸命がんばります。



齋藤 文夫  
龍田西6丁目

住民皆様の温かいご支援を賜り心から感謝しております。2期目も初心を忘れず、子育て世代の1人として教育、福祉の充実に全力を尽くしてまいります。皆様のニーズを町政に反映し、安心、安全な斑鳩町が出来るように頑張ります。



大森 恒太郎  
神南3丁目

7期目の選挙も無事に当選させていただく事ができました。ご支援を頂きました皆さまには心から感謝申し上げます。5月9日の臨時会で3度目の議長に就任をさせて頂きました。今後も初心を忘れず、住民皆様のご意見、ご要望等を反映できますように努めまいりますので宜しくお願い致します。



中川 靖広  
龍田3丁目





嶋田 善行  
興留9丁目

毎日の日常生活の中で、一呼吸ごとに子どもたちの安全を願う行動し、一呼吸ごとに町民の方々の幸せを思い力を注ぎ、一呼吸ごとに斑鳩町の将来を考えて、5期20年活動してまいりました。そして今後も、子どもたちの安全、町民の方々の幸せ、斑鳩町の将来を私なりに熟慮しながら、力を尽くしてまいります。



濱 真理子  
龍田西2丁目

3期目の議員として働かせていただきます。家族でも一人ひとりの思いはそれぞれです。年齢や住んでいる地域環境によってもさまざまです。しかし、お互いを認め、尊重しあい、共に命と暮らしを守る大切が大切です。そのため力いっぱい活動を目指していきます。



井上 卓也  
神南5丁目

この度も、住民の皆様のご支援を頂きました事を、心より深く感謝申し上げます。皆様のご支援を頂き、3期目もしっかりと町民の皆様が、「安全で安心」して暮らせる町を目指し、共に情報を共有し、町政に反映してまいります事を、お約束させていただきます。引き続き頑張っております。



木澤 正男  
興留5丁目

みなさまのご支援で議会へ送っていただき6期目となりました。身近に役立つ議員として、引き続き、町民のみなさまの願い実現に全力がんばります。



横田 敏文  
法隆寺南1丁目

2期目の議会、ご支援を賜り有難うございました。「早く速く」を行動指針として、歴史と文化の息づく斑鳩を魅力あふれる活力のあるまちづくりに誠心誠意取り組みます。より一層、経常収支比率の改善を図り、柔軟で安定した財務基盤の確立を目指します。



奥村 容子  
龍田西5丁目

みなさまのあたたいご支援により、3期目の議員活動をさせていただくことに、心から感謝を申し上げます。



宮崎 和彦  
興留3丁目

この度皆様のご支援で再選4期目を務めさせていただきましたことになりました。新たな気持ちでより厳しく町政をチェックしてまいります、お待ちしております。





**こんなことが決まりました**  
**第2回 臨時会**  
 令和5年5月9日  
**第3回 定例会**  
 令和5年6月1日～6月20日

令和5年第2回臨時会では、議員の役員改選のほか、下記の事項について審議しました。

また、令和5年第3回定例会では、それぞれの議案を委員会に付託し、詳しく審査しています。

議案の内容などについては、各委員会の記事をごらんください。

建水：建設水道常任委員会	12ページ
厚生：厚生常任委員会	13ページ
総務：総務常任委員会	14ページ

5月臨時会の案件		結果
同意	斑鳩町監査委員の選任について同意を求めることについて	満場一致で同意
承認	町長専決処分について承認を求めることについて(斑鳩町町税条例の一部を改正する条例について)	満場一致で承認
	町長専決処分について承認を求めることについて(斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例について)	賛成多数で承認
	町長専決処分について承認を求めることについて(斑鳩町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	賛成多数で承認
	町長専決処分について承認を求めることについて(令和4年度斑鳩町一般会計補正予算(第16号)について)	満場一致で承認
報告	町長専決処分について承認を求めることについて(令和4年度斑鳩町一般会計補正予算(第17号)について)	満場一致で承認
	議会の委任による町長専決処分の報告について(令和5年度斑鳩町一般会計補正予算(第1号)について)	報告
	議会の委任による町長専決処分の報告について(令和5年度斑鳩町一般会計補正予算(第2号)について)	
議会の委任による町長専決処分の報告について(令和5年度斑鳩町一般会計補正予算(第3号)について)		

議会選出の監査委員として、嶋田善行を選任することに同意

15ページに賛否の討論

**?用語解説?**  
**専決処分とは…**  
 議会が議決すべき事件について、議会を招集する暇がない等、法律で定められた事由に該当する場合や、議会の議決によって委任された場合に、町長が議会に代わって当該事件を処分すること。

6月定例会の案件		付託先	結果
条例	斑鳩町町税条例の一部を改正する条例について	総務	満場一致で可決
契約	(仮称)斑鳩町龍田西地区地域交流館整備工事請負契約の締結について		
	令和5年度消防ポンプ自動車の取得について		
予算	令和5年度斑鳩町一般会計補正予算(第6号)について	厚生	
	令和5年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	建水	
選挙	令和5年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第1号)について		当選
	斑鳩町選挙管理委員会の委員及び同補充員の選挙について		広域連合へ報告
承認	奈良県後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙について		満場一致で承認
報告	町長専決処分について承認を求めることについて(令和5年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について)		報告
	議会の委任による町長専決処分の報告について(令和5年度斑鳩町一般会計補正予算(第4号)について)		
	議会の委任による町長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)		
	議会の委任による町長専決処分の報告について(令和5年度斑鳩町一般会計補正予算(第5号)について)		
	令和4年度斑鳩町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について		
発議	令和4年度斑鳩町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について		満場一致で可決
	令和4年度斑鳩町文化振興財団事業報告について		
発議	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准の議論を進めることを求める意見書について		満場一致で可決

選挙管理委員会委員に今邨鉄雄氏、松下靖氏、浅井真氏、鈴木さよ子氏が、同補充員に大竹義雄氏、北本文克氏、西岡敬司氏、吉田建一郎氏が当選。

5ページに意見書

## 関係機関に 意見書を送付

6月定例会では「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准の議論を進めることを求める意見書」が議員提案され、満場一致で可決され、関係機関に送付しました。

### 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准の議論を進めることを求める意見書

広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年を経た2017年7月7日、歴史的な核兵器禁止条約が採択されました。同年9月20日には同条約への調印・批准・参加が開始され、2021年1月22日に発効しました。現在92か国が署名し、68か国が批准しています。

核兵器禁止条約は、核兵器について破滅的な結末をもたらす非人道的な兵器であり、国連憲章、国際法、国際人道法、国際人権法に反するものであると断罪して、これに「悪の烙印」を押ししました。

条約は、開発、生産、実験、製造、取得、保有、貯蔵、使用とその威嚇にいたるまで、核兵器に関わるあらゆる活動を禁止しています。条約は、被爆者や核実験被害者への援助をおこなう責任も明記しています。

核兵器禁止条約は、被爆者とともに私たち日本国民が長年にわたり熱望してきた核兵器完全廃絶につながる画期的なものです。この核兵器禁止条約の規範力を強化し、核兵器の使用を防ぐことがつよく求められています。

2022年2月24日、ロシアのプーチン大統領は、ウクライナへの軍事侵略に合わせて、「ロシアは世界で最も強力な核保有国の一つだ。わが国を攻撃すれば壊滅し、悲惨な結果になる」と核兵器による威嚇をおこないました。その後も繰り返し核使用の脅迫をおこないながら侵略を続けています。これは、核兵器の使用・威嚇を禁じた核兵器禁止条約に明確に違反するものです。

いまこそ広島、長崎の原爆被害を体験した日本の政府は、核兵器の使用を許さず、核兵器を全面的に禁止させる先頭に立たねばなりません。よって核兵器禁止条約に参加、調印、批准するための議論を進めることを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

### 議会の日程

#### 閉会中の委員会

事情により開催しない場合もありますので、議会事務局にお問い合わせください。

- 8月18日(金) 厚生常任委員会
- 21日(月) 建設水道常任委員会
- 22日(火) 総務常任委員会
- 24日(木) 議会運営委員会

#### 令和5年9月議会

9月1日(金) 本会議初日

(委員長報告、提案説明、議案上程)

広報発行常任委員会

- 6日(水) 一般質問 【本会議初日に町ホームページに
- 7日(木) 一般質問 一般質問の要旨を掲載します。】
- 8日(金) 決算審査特別委員会
- 11日(月) 決算審査特別委員会
- 13日(水) 決算審査特別委員会
- 14日(木) 建設水道常任委員会
- 15日(金) 厚生常任委員会
- 19日(火) 総務常任委員会
- 21日(木) 議会運営委員会
- 26日(火) 本会議最終日(委員長報告、討論、表決)

議場は、役場3階です。  
すべて傍聴できます。

開会時間は、午前9時を予定しています。

(広報発行常任委員会は本会議終了後)

日程・時間は、一部変更になる場合があります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎74-11001 内線302



# 一般質問 Q &A

一般質問とは、議員が町の行政全般について質問し、是正を求めたり、新たな施策の提案を行ったりするものです。

本定例会での一般質問は、6月6日・7日の両日、9人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

※紙面の都合により、◎の質問のみ掲載しています。

## 溝部真紀子・6ページ

- ◎通学児童への見守りビーコンの導入について
- 支援の必要な児童生徒への支援体制について
- ◎給食費の無償化について

## 小城世督・7ページ

- コロナ禍で止まっているホテルの建設について
- 観光客誘致について
- ◎小中学校における食育について
- 自転車ヘルメット購入における助成について

## 齋藤文夫・7ページ

- 子ども食堂への支援について
- ◎通学時の安全対策について
- マンホールトイレの設置について

## 奥村容子・8ページ

- ◎コロナ禍や、以後の学校の取り組みについて
- 自転車ヘルメット着用推進について

## 伴吉晴・9ページ

- ◎ごみの分別についての成果について
- ◎空き家問題について

## 大森恒太郎・9ページ

- ◎法隆寺門前の県道について

## 濱真理子・10ページ

- ◎チャイルドシート購入補助について
- 高齢者の補聴器購入費助成の拡充について
- 町内で活動されているボランティアの方々への支援について
- 重度身体障がい者の移動支援制度の充実について
- ナポくんメールの活用を

## 宮崎和彦・10ページ

- ◎下水道の接続について
- 斑鳩町立斑鳩東小学校の西側の道路について
- ◎災害対策について
- コミュニティバス王寺駅乗り入れについて
- 入札と税について

## 木澤正男・11ページ

- ◎自転車用ヘルメット購入費助成制度について
- ◎少人数学級編制の推進について
- 後期高齢者医療高額療養費の支給申請について
- 自衛隊からの個人情報提出依頼への対応について

## 給食費の無償化について



溝部 真紀子

議員 政府が2023年3月31日の少子化対策のたき台として給食費の無償化をすすめるとなりましたが、今後の国の動向を踏まえて斑鳩町ではどのように考えていますか。

通学児童への見守りビーコンの導入について

また子育て世帯が注目しているこの施策を子育てしやすい町・斑鳩町が国に先駆けて実現していくべきと考えますが、いかがですか。

議員 ICTを活用した児童の登下校の見守りのため、見守りビーコンの導入を提案します。

教育次長 限られた財源の中で国の交付金なども活用しながら、子育て世帯への経済的支援として学校給食費の負担軽減に努めています。学校給食費の無償化については、学校施策の老朽化対策をはじめとする様々な課題に対する優先順位等を総合的に勘案する

見守りビーコンは、子どもが持つ電子タグから発信される電波により、子どもの居場所をリアルタイムに保護者の携帯電話に通知するシステムです。斑鳩町の考えをお伺いします。

教育次長 三郷町では、新型コロナウイルス感染症の影響で登下校の見守りボランティアの活動が制限され

中、本町が先行しての実施は難しいと考えています。





た背景から、町内30か所に児童生徒が携帯する電子タグを受信する受信機が設置され、通学中の児童の位置情報を保護者に伝える見守りビーコンシステムを本年4月から導入をされております。

斑鳩町では、児童生徒の安全・安心な登下校を継続するため、「地域の子どもは地域で守る」の考えの下、住民の方々にも協力をいただきながら、引き続き、様々な手法について調査研究等を行います。

## 小・中学校における食育について



小城 世督

**議員** コロナ禍により、友達との会話を楽しくしながら給食を食べるという当たり前の日常がなくなりまして。コロナ禍での学校給食の現状ですが、5類に移行した現状の給食の方法と今後の方向性について、町の見解を伺います。

**教育次長** 各学校、座席は前を向いたままですが、パーティションの設置は求めない、マナーとして大声を出さないようにすれば会話は可能とするなど、一定の感染症対策を取りながら緩和に向けた対応を行っています。

形式で給食を取るようになるなど、徐々にコロナ禍以前の形に戻すよう検討を行っています。

**議員** 小学校には3校とも、ランチルームがあります。私が小学生ぐらいのときにできたもので、すばらしい施設です。1学年が一堂に会して食事をするという、本当に楽しく食育ができる環境で、色々な活用ができる必要な場所であると認識しています。

現状の使用状況と今後の活用について伺います。

**教育次長** 感染対策のため、小学校ランチルームでの給食は控えており、今年度も1学期の期間中は、各小学校とも活用の予定はありません。

しかし、ランチルームでの給食は、食育の一環として多様な他者との関わりを持つ中で、子どもたちが自分と異なる感性や価値観、考え方に多く触れる機会を増やし、協働的な学びの促進につながると考えています。このことから、2学期以降は、各小学校において、他の学級や異なる学年どうしでの給食にも活用する予定です。

**議員** 早期に活用の再開をしていただきたい。今までのおりの再開ではなく、今まで以上に使用頻度を増やすなどの検討も含めて、子どもたちへの機会の提供をよろしく願います。



▲斑鳩東小学校のランチルーム

## 通学時の安全対策について



齋藤 文夫

**議員** 通学の登下校時、児童の安全確保のためには、通学中の交通事故や不審者から守る対策などが必要である。事故を未然に防ぐためには学校支援ボランティアの皆さんがなくてはならない存在である。斑鳩町内で通学登下校中の事故の推移はいかがか。

**教育次長** 過去3年間の状況として、西和警察署で認



知られている通学・登下校中の自動車との接触事故発生件数は2件で、いずれも、自転車で登校中の中学生の車両との出会い頭による事故で、怪我の状況は1件が軽症、1件が重症である。

**議員** 斑鳩町内の通学路の危険箇所の対応状況や完了見込みは、いかがか。

**教育次長** 毎年夏休み期間中に警察や国・県また町の関係機関が連携して通学路の安全点検を実施し、危険箇所の対策を行ってきた。令和4年度は、12か所を必重点検箇所として選定し、令和4年8月23日に安全点検を行った。10か所は、通学路注意の路面表示のほか、警察による交通取締り強化、交通安全教育やトラックの進入等に係る事業所への注意喚起などの対策を行い、2か所は、関係機関と協議し対応を進めている。

**議員** 通学路の安全対策について、保護者や学校支援ボランティア、付近住民からの要望への対応は、いかがか。

**教育次長** 一斉点検のときに限らず、個別に通学路の安全対策に関する要望などのご相談をいただいた場合には、その内容や緊急性などを鑑み、警察や道路関係部局等とも連携をしながら、随時対応を行っている。

**議員** 学校支援ボランティアを含め犯罪から未然に防ぐ対策は、いかがか。

**教育次長** 活動いただいている学校支援ボランティアの方々の後継者不足については、町として課題のひとつであると認識している。日々の見守り活動の様子をSNSで発信したり、感謝を伝える機会を設けたりするなど、学校支援ボランティアの方々へのモチベーションの向上策も検討していく。



## 豊かな心を育むため 体験学習の復活と充実を



奥村 容子

**議員** 若い世代の独創性や創造性を育むためには、幼少期から優れた芸術・文化に触れ、豊かな情操を養う機会が大切です。主体性や計画性、自己肯定感など見えない力を伸ばすには文化や芸術に触れる体験教育が必要です。

**小・中学校で感染対策が緩和されるなか、子どもたちが芸術や文化に触れる体験教育の方向性について伺います。**

**教育次長** 令和4年度から、斑鳩町の小・中学校では、「いかるが楽(がく)」の学習を取り入れています。「いかるが楽(がく)」は、児童生徒が故郷の自然や人・伝統や歴史文化に触れ、

児童生徒1人1台パソコン  
今後の課題は

**議員** GIGAスクール構想による1人1台端末の今後の課題について伺います。

**教育次長** 令和2年度に児童生徒一人一人に配備した端末は、デジタル教科書やコロナ禍におけるオンライン授業をはじめ校外学習や自己学習のツールとしてなど、幅広く活用しています。今後は、端末の更新の必要が生じてきますので、財源の確保に加えて、端末の機能の見直しや利便性の検討など、児童生徒にとってさらに効果的なICTツールとなるよう調査研究します。



▲各小・中学校で、芸術にふれる機会づくりに努めています。



# ごみ分別の成果公表で 住民の意欲アップを



伴 吉晴

**議員** 斑鳩町の資源化率が

全国平均の2倍以上であり、町民全体がごみの分別に取り組んでいると全国紙に掲載されました。環境によいことはもちろん、町財政も廃棄物処理費用が削減されていると思います。

ごみ分別により削減された経費は、どのように活用されていますか。

**住民生活部長** 枝葉草類や生ごみ、びん類や缶類など、資源物を分別したことによる処理費用を比較すると、資源として再生できる物を分別するほうが、焼却や埋め立てをするよりも、年間でおよそ2千〜2千5百万円、過去10年間で約2億3500万円の処理費用を削減

できています。

ごみ分別により削減できた費用は福祉や教育などで有効に活用しています。

**議員** 住民みんなの力で、これだけごみを削減することができたというところを、定期的に広報周知されることを提案します。

**副町長** ごみ分別による資源化や財政効果をわかりやすく広報周知していきます。

## 増え続ける空き家対策を

**議員** 斑鳩町でも空き家が  
増えています。町は空き家  
数を把握していますか。

**総務部長** 令和5年3月末  
で町が把握している空き家  
数は84件で、増加傾向です。



▲保育園児も、生ごみの資源化に協力しています

**議員** 個人の所有物であり  
難しいことは理解していま  
すが、全国的に問題になっ  
ていることです。

斑鳩町は、空き家問題  
どのように認識しています  
か。

**町長** 問題のある空き家  
については担当課から所有者  
等に指導等も行っています。

しかし、行政だけで整理  
していくことは難しいとも  
考えており、民間事業者等  
とも相談しながら、空き家  
対策にとりくんでいきたい  
と考えています。

**議員** 行政と住民が協働で  
空き家問題に対応してい  
かなければならないと思いま  
す。議会からの提案や住民  
からの提案も受けていただ  
きながら進めてください。

# 法隆寺門前の 県道整備について



大森 恒太朗

今後の取り組みの方向性、  
5つの中に観光バリアフ  
リーの促進があります。そ  
の進捗状況について確認さ  
せてください。

**都市建設部長** 平成31年3  
月に策定した斑鳩町バリア  
フリー基本構想特定事業計  
画において、県道法隆寺線  
の実施計画としては、舗装  
の改良、点字ブロックの設  
置、障害者用停車施設等の  
設置をあげており、実施期  
間は令和3〜7年度です。  
管理主体は奈良県であり、  
郡山土木事務所において、  
令和4年度から整備内容に  
ついて、町と連携しながら  
協議を進めています。

**議員** 管理主体は私も奈良  
県だと理解しています。町  
としてどのようなアイデア  
を出したのか、協議したの  
か確認したい。

**議員** 法隆寺門前の県道に  
ついて、高齢者、障害者の  
移動等の円滑化の促進に関  
する法律に基づき策定され  
た斑鳩町バリアフリー基本  
構想、高齢者、障害者、子  
ども、子育て世代、観光客  
等が利用する施設の移動が  
円滑に誰でも暮らしやすい  
町づくりの為に整備が行わ  
れています。この基本構想  
の推進に向けた取り組み、

**都市建設部長** 県道法隆寺  
線は、法隆寺参拝の玄関口  
です。バリアフリー化に観  
光地の観点を含めて、修  
景、景観等に配慮し、観光  
客を迎え入れることができ  
る、より良い道路となるよ



うに、郡山土木事務所との協議で強く要望しています。

**議員** 先日、同僚議員も言われたとおり、姫路城ではすぐイベント等しております。私も他府県に行つた時、「斑鳩町」と言ってもピンとこないですが、

「法隆寺がある町です」と言つと「あそこね」とピンと来られます。やはり斑鳩町イコール法隆寺が他府県の方の認識です。斑鳩町と法隆寺はすごく密接な関係をしていると思います。その中で法隆寺と奈良県と斑鳩町が連動して、もっともっと素晴らしい町にしたいだけのように強く要望します。



▲県道法隆寺線

## チャイルドシート 購入補助制度の創設を



濱 眞理子

**議員** 6歳未満児の乗車に

チャイルドシートは、子どもの安全を守るために必要不可欠なものです。出生後、産院を退院する時からの使用が必要で、使用していな

いときは反則1点となります。保育園、幼稚園等への送迎に車を使われている方は相当おいです。町では自転車に取りつける子ども用の補助椅子の補助を実施

しており、住民からは喜ばれています。しかし、乳児など自転車での送迎が難しい例や、気候の具合によっては車での送迎が必要となることもあります。町内の6歳未満児の人数と世帯数、また、対象児が複数いる世帯数についてお聞きします。

**住民生活部長** 6歳未満

児は1,335人、世帯数は1,006世帯。そのうち、対象児童が複数いる世帯は300世帯（令和5年6月1日付）です。

**議員** 斑鳩町は、国・県に先駆けて子育て支援策に力を入れ、子ども医療費の助成対象年齢の引上げや、小中学校での町独自の少人数学級編制、保育園や学童保育の時間延長などに取り組まれてきました。町外から

様々な子育て施策に注目し、転入の声も聞かれます。また町外で子育て中の二世を呼び戻すとのお話も聞きました。斑鳩町の魅力ある施策のひとつに、チャイルドシート購入への補助創設を強く要望します。

全国でもかなりの自治体

が取り組んでいます。購入補助に共通するのは、「チャイルドシートの品質が保証されているもの」とあり、安全最優先です。リサイクルショップなどでも多数展示されていますが、安全面での見解をお聞きます。

**住民生活部長** 中古品を

購入するときは、子どもの命を守るためにも劣化や損傷がないか、国の安全基準への適合が確認されたものであるかなど、保護者の方が細心の注意を払って購入される必要があります。

**議員** 購入費用は家庭の経済を大きく圧迫します。購入補助制度の創設を求めます。



## 災害対策について



宮崎 和彦

**議員** 自然災害への対応に備えて地元業者との連携について問う。

**都市建設部長** 町では、迅速な対応ができるよう被災した場合の応急復旧や本復旧の体制を整えておく必要があり、特に地元の建設業の皆様の協力が必要です。

過去には、町から「緊急時における資機材の種類と量、また作業員の数や現場



到達に要する時間と連絡先」について照会を行い、建設業者ごとの協力体制を確認していただきました。

しかし、実際に災害が起これば、復旧作業を個別に建設業者に依頼しますと、実動いただける作業員の人数不足や、時期により把握した資材の量が異なること、

建設機械はあるが、作業員の手配ができない場合など、復旧作業の建設業者の手配に苦慮したことがあります。平成29年の台風21号

による被災の復旧作業においても個別に建設業者に依頼することが困難であったため、斑鳩町建設業協会に

依頼し、協会の皆様で作業員や資材、建設機械の手配をいただいて、早期に復旧作業を進めることができました

経験があります。今後は、建設業者の個別依頼に加えて、斑鳩町建設業協会に総合的に協力をお願いしたいと考えています。

資機材や作業員数等の個別把握についても、災害発

生時期等により資機材の情報も異なりますので、現在は依頼していませんが、斑鳩町建設業協会に対して改めて災害時の協力体制について協議したいと考えています。

**私道での下水道工事の手続きについて**

**議員** 私道の下水道工事は地権者から同意を得て整備しているのか問う。

**都市建設部長** 私道に公共下水道を敷設する場合、一定の要件を満たしていれば私道の権利者から申請いただき、私道敷使用貸借契約を締結し整備しています。なお、私道についてはさまざまなケースがあり、状況により対応しています。



## 自転車用ヘルメットの購入費助成制度を



木澤 正男

**議員** 道路交通法の改正によって、今年の4月1日から自転車を運転する全ての人

がヘルメットを着用することが努力義務になりました。町民の命と安全を守る

一助として自転車用ヘルメットの購入費助成制度を創設し、自転車利用者のヘルメット着用率の向上を目指す

べきではないでしょうか。

**総務部長** ヘルメット購入費用に対する助成制度については、近隣の先進自治体の事例を参考に検討していきたいと考えています。

**少人数学級編制の推進を**

**議員** 斑鳩町では、現在、小学校1・2年生は30人学

級編制、小学校3年生から中学校3年生までは35人学級編制となっていますが、授業参観に行かれた保護者の方から「1クラスの人数が36人以上いた。35人学級編制になっていないじゃないか」との指摘がありました。なぜ、そうした状況が生じるのか。また、町として国の基準に先駆けて、少人数学級編制を推進していくべきだと考えますが、町の見解をおたずねします。

**教育長** 現在、町では、少人数学級編制と少人数指導を行っています。また、令和5年度では、特別支援学級の子どもが交流学級に入っても1・2年生の30人学級、それ以外でも35人学級を超えるという現状はあ

りません。しかし、授業参観の際には、すべての子どもたちが入った授業を見たという思いをお持ちの方もあり、35人を超える場合が出てきます。

また、国が示す少人数学級編制の基準と、斑鳩町の取り組みが来年度で一緒になってしまうことから、町として新たな方策を考えていく必要があると考えています。したがって、町として、少人数指導や特別支援学級のお子さんも含めた学級編制について、総合的な検討をしていきたいと考えています。





## 建

## 設水道常任委員会

6月8日と6月15日に、委員会を開催し、委員会付託議案等の審査を行いました。

その主な内容と結果を報告します。

## 委員会付託議案

◎令和5年度斑鳩町水道事業会計補正予算（第1号）  
にっしん

エネルギー、食料品価格等の物価高騰に対する斑鳩町独自の支援策として、住民や事業者に対して、水道料金の基本料金を7月から12月分まで免除することに伴う補正です。

委員より、他町から給水を受けている地域住民への対応について質疑があり、一般会計から補助されるとのことです。

審査の結果、満場一致で可決すべきものと決しました。

## 各課報告事項

○令和5年度斑鳩町一般会計補正予算（第6号）について

生活応援券（町民1人あたり5千円分、中学生以下と65歳以上は1人あたり2,500円上乗せ）の発行をはじめ、当委員会の所管事項について説明を受けました。

○いかるがパークウェイ整備事業に関するについて

3月24日に開催された興留交差点計画説明会について、いかるがパークウェイの整備に5億円が国の予算として計上されていることについて、五百井・興留区間の工事の進捗について報告がありました。

○令和4年度斑鳩町文化振興センター指定管理者事業報告について

○令和4年度斑鳩の里観光案内所及び斑鳩町観光自動車駐車場指定管理者事業報告について

○水道料金不納欠損処分について  
12人、64,077円の不納欠損処分を行ったとのことです。

○下水道料金不納欠損処分について

8人、3万1,871円の不納欠損処分を行ったとのことです。

○斑鳩町コミュニティバスの利用状況について

令和4年度の利用者数は29,518人で、前年度より約11%増えたとのことです。

○大規模盛土造成地における宅地耐震化の取り組みについて

国において変動予測調査や滑動崩落防止工事などの予防対策を支援する宅地耐震化推進事業が創設され、令和4年度に、奈良県と斑鳩町が連携して大規模盛土造成地の調査を行った結果が報告されました。

○斑鳩町マルシェ・宿泊施設等事業者誘致事業について（6月15日報告）

（株）呉竹荘の担当者から、施設の開業時期を延期する申し出があったとのことです。令和2年から3年間の賃貸料を減免していましたが、会社が受ける公的融資の規制等に伴い、覚書の開業の時期に記載された期限内の工事再開やホテル開業

が困難になったと報告がありました。

委員より、日本政策投資銀行からの規制内容について、令和5年度以降の賃貸料について、資材高騰の影響についてなど、質疑がありました。

○6月2日の大雨に係る警戒体制・被害について

○町営住宅正隆寺団地の入居者の退去について

○和のあかりと未来へのひかりの実施予定について

○水道事故について

## その他

○東福寺地内の公園の管理、植栽について

○災害時における斑鳩町建設業協会との協定について

（伴委員長記）





6月9日、全委員出席のもと委員会を開催し、委員会付託議案等の審査を行いましたので、その主な内容と結果について報告します。

# 厚

## 生常任委員会

### 委員会付託議案

◎令和5年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について

償還金が当初予定額を上回ることに伴う補正予算です。

審査の結果、満場一致で可決すべきものと決しました。

### 各課報告事項

○令和5年度斑鳩町一般会計補正予算(第6号)について

電力・ガス・食料品等価格高騰に伴う町独自支援策に必要な予算を補正するなど、当委員会の所管事項について説明を受けました。

○令和4年度国民健康保険税の不納欠損について

66人、1,141万9,790円の不納欠損処分を行ったと報告を受けました。

○令和4年度介護保険料の不納欠損について

33人、104万1,070円の不納欠損を行ったと報告を受けました。

○令和4年度後期高齢者医療保険料不納欠損について

1人、54,900円の不納欠損を行ったと報告を受けました。

委員より、3つの保険料ともに滞納している人がおられるか、また、コロナ禍が原因で滞納が増えている状況があるのか質疑がありました。

○電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金について

令和5年6月1日時点で世帯全員の今年度分の住民税均等割が非課税である世帯を対象に、1世帯あたり3万円の給付金を支給すると報告を受けました。

対象者に、7月下旬から8月上旬に申請書を送付予定とのこと。

委員より、申請書のチェック項目について、受取口座について、財源についてなど質疑がありました。

○令和4年度廃棄物・資源物の排出量について

家庭系廃棄物は、前年度より約64トン(2%)減少、また、家庭系資源物は、前年度より約30トン(1.6%)減少しました。

一方、事業系廃棄物は、約69トン(4.5%)増加しました。

家庭系・事業系を合わせた総排出量は、約6,559トンで、前年度より、24トン(約0.4%)減少したと報告がありました。

ごみ排出量は、県や国の数値と比べて低く、資源化率は、県や国よりも高い数値で推移しているとのこと。

委員より、今後の資源化率の見直しについて、生ごみ分別モデル自治会について、紙おむつの資源化について質疑がありました。

環境保全やごみ減量化等の問題は、斑鳩町のまちづくりの重点施策であることから、「環境保全及びごみ減量化・資源化の推進に関すること」については、当委員会として、継続審査案件の取り扱いをすることにしました。

○6月2日の大雨に係る警戒体制・被害について

(溝部委員長記)

ごみの分別と資源化にご協力ください





# 総

## 務常任委員会

6月13日、全委員出席のもと、総務常任委員会を開催しましたので、その概要を報告します。  
本会議より付託を受けました4議案は、すべて満場一致で可決すべきものと決しました。

### 委員会付託議案

◎斑鳩町町税条例の一部を改正する条例について

法改正により、3輪の特定小型原動機自転車の種別割区分の見直しや森林環境税を賦課・徴収を行うことに伴う改定です。

◎(仮称)斑鳩町龍田西地区地域交流館整備工事請負契約の締結について

計画地は斑鳩町龍田西7丁目地内で、敷地面積は、677.85平方メートルで、契約金額は、1億1,

902万円(税込)です。

◎令和5年度消防ポンプ自動車取得について

契約金額は、2,832万5千円(税込)で、令和7年3月21日までに納車予定  
です。

◎令和5年度斑鳩町一般会計補正予算(第6号)について

エネルギー・食料品価格等の物価高騰に対する町独自の支援策として、  
①斑鳩町生活応援券を発行  
②低所得世帯に対し、1世帯あたり3万円を支給

### 各課報告事項

- ③水道基本料金の6か月間免除
- ④町立幼稚園、小・中学校給食補助金の増額
- ⑤町内私立保育園への給食食材費の支援  
などを実施するために必要な補正予算です。
- 歳入歳出の総額に3億3,145万9千円を追加し、112億8,345万円とするものです。

◎令和4年度町税不納欠損処分について

町税の不納欠損処分は全体で30人、140万3,283円です。

◎令和4年度町税収納状況について

令和4年度の町税収納額は、30億9,871万9,208円で、前年度と比較して、3,106万5,505円、1.0%の増です。

- ◎不登校対策の充実について  
不登校または不登校傾向の児童・生徒に、小集団での学習及び諸活動を通して、活動の場及び心の居場所を確保することにより、社会的な自立を支援するために、新たに(仮称)斑鳩町子どもと親のフリースペースを設置・運営をするものです。
- ◎斑鳩町における発掘調査等の文化財の調査、保存及び活用に関することについて  
斑鳩町文化財活用センターの運営について、歴史講演会の開催について、かかるがパークウェイ建設にともなう発掘調査速報展について、史跡中宮寺跡の活用について、史跡藤ノ木古墳の石室特別公開について報告がありました。
- ◎6月2日の大雨に係る警戒体制・被害について
- ◎災害時における物資供給に関する協定締結について
- ◎斑鳩町デジタル防災行政無線システム戸別受信機の

### その他

- ◎無償貸与について
- ◎職員採用試験の実施について
- ◎子ども模擬議会の開催について
- ◎3人制バスケットボールプロチームとの連携協定について
- ◎住民へ物価高騰対策の広報について
- ◎たつた保育園の前の横断歩道について

(齋藤委員長記)





# 本会議での 討論

議案に対して賛否が分かれた場合等、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べる「討論」を行います。

5月臨時会で1件の討論が行われました。

## 町長専決処分について承認を求めることについて (斑鳩町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について) (賛成多数で承認)

### 【反対意見】 木澤正男

今回の条例改正では国民健康保険税課税限度額の2万円引き上げとともに5割軽減、2割軽減対象世帯への負担軽減が行われます。これまで、この改定に賛成してきましたが、しかし、この改定では、国民健康保険制度がかかえている構造的な問題を解決することはできません。

斑鳩町の場合、国保税が限度額に達するのは年収920万円の家庭で、保険税は104万円になりますが、協会けんぽの加入者だと50%の事業主負担があるため、対象世帯の家庭負担は53万円と国保税の約半分です。給付等にかかる費用を保険税で賄うという今のシステムでは、国民健康保険の被保険者の負担は限界にきており、保険税の限度額を引き上げて対応するというやり方では、被用者保険との格差が広がるばかりです。国・県・町による公費の投入を求め、今回の改定には反対します。

### 【賛成意見】 嶋田善行

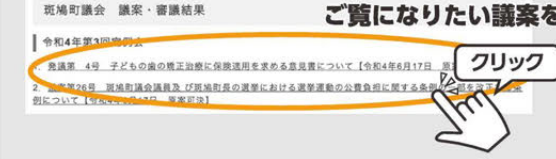
今回の課税限度額の改正は、高齢化の進展に伴って医療費の増加が見込まれるなか、中間所得層の負担軽減を見据えて引き上げられたもので、高額所得を有しておられる加入者には、負担増となりますものの、引き上げは理解できるものです。

このことから、この町長専決処分について承認を求める議案について特段反対するものではないと考え、賛同します。

## .....町ホームページで議案・審議結果をアップしています。.....

1 **斑鳩町** **検索**

2 **トップページ**  


4 **斑鳩町議会 議案・審議結果**  
**ご覧になりたい議案を**  


3 **議会情報**  
 議会だより[2022年5月1日]  
 会議録[2021年11月20日]  
**議案・審議結果[2022年6月23日]**  
 定例会 第1回定例会・委員会開催[2022年6月]  
 一般質問要旨[2022年6月1日]  
**議案・審議結果を**  


### 斑鳩町ホームページ

<https://www.town.ikaruga.nara.jp/>  
 「斑鳩町議会」をクリックしてください。

議会情報の「議案・審議結果」で、令和4年第1回定例会以降の議案の概要と結果がご覧いただけます。





# 議会の新しい構成をお知らせします

5月9日に議会役員等の選任を行いました。新しい議会の構成は下記のとおりです。

(議席順)

## 総務常任委員会

委員長 齋藤 文夫  
副委員長 小城 世督  
委員 溝部真紀子  
〃 伴 吉晴  
〃 嶋田 善行  
〃 木澤 正男

町の総合計画や行政改革、防災計画、コミュニティ、財政計画、財産管理、町民税、固定資産税、小・中学校、幼稚園、生涯学習に関すること等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

## 議会運営委員会

委員長 木澤 正男  
副委員長 溝部真紀子  
委員 齋藤 文夫  
〃 嶋田 善行  
〃 横田 敏文  
〃 宮崎 和彦  
〃 奥村 容子

定例議会の会期、議事日程や議事進行に関すること、請願・陳情の処理に関すること、意見書の提出等議会の対外的問題に関すること等、その他議会運営上必要と認める事項や、他の委員会に属さない事項の審査、調査をします。

議長 中川 靖広  
副議長 横田 敏文  
監査委員 嶋田 善行



本会議・委員会の開催日程は5ページをご覧ください。

## 厚生常任委員会

委員長 溝部真紀子  
副委員長 小城 世督  
委員 横田 敏文  
〃 宮崎 和彦  
〃 濱 真理子  
〃 奥村 容子

保健事業、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、介護保険、国民健康保険、ごみ問題、環境対策、住民登録・戸籍に関すること等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

## 建設水道常任委員会

委員長 伴 吉晴  
副委員長 井上 卓也  
委員 大森恒太郎  
〃 横田 敏文  
〃 宮崎 和彦  
〃 木澤 正男

道路、河川、橋梁、町営住宅、農業、建築開発に伴う各種規制、公園・緑地、駅前整備、都市計画道路、地域公共交通、観光、商工業、文化振興財団、上下水道に関すること等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

## 広報発行常任委員会

委員長 濱 真理子  
副委員長 大森恒太郎  
委員 齋藤 文夫  
〃 嶋田 善行  
〃 井上 卓也  
〃 奥村 容子

議会広報の編集、発行に関する事務をします。



▲令和5年度の広報発行常任委員会委員

編集後記

ニュースの各地の話に「暑さからの避難」の記事がありました。コロナ禍の下で撤去されていた公共施設や商業施設等の椅子やベンチの復活だけでなく、テーブルと椅子が置かれた空間を暑さから逃れて自由に利用できるものも。もちろんクーラー完備です。涼しくてあったかい記事でした。

(濱委員長記)